

稲穂や樹々の緑が一層濃さを増し、五頭連峰の青さと相まって力強くも清々しい雰囲気を出しています。今年は4年ぶりにエルニーニョ現象が発生しており異常気象が心配されます。秋の収穫期には豊作であることを願うばかりです。

物価高の影響を受けている方々へのご支援を 県、市と連携して一層推進します!

新潟県議会議員
帆苅 謙治

早いもので、県議選9期目の当選から3カ月が過ぎました。

その間、比較的天候に恵まれ田植えも順調に終わり、桜、チューリップ、躑躅、菖蒲、紫陽花等の花々が順番に咲き誇り私達を和ませてくれました。

成長した稲穂と五頭連峰



成長した稲穂と五頭連峰



国道49号沿いの櫟並木



近所で見つけた可憐な紫陽花

本号では、2月と6月に成立した令和5年度予算の概要と、直近の県議会での質疑の状況を記します。

1. 新潟県令和5年度予算の概要

県議会では、県提案の①令和4年度2月冒頭補正予算、令和5年度当初予算、②令和5年度6月補正予算と、切れ目のない予算を相次いで成立させました。

(1) 予算額

①令和4年度2月冒頭補正予算と令和5年度当初予算を合わせ1兆4、138億円(前年度比▲

3%)を一体編成

②本県独自の少子化対策として子育ての負担軽減支援に必要な経費、エネルギー価格・物価高の影響を受けている生活者及び事業者へのさらなる支援に必要な経費、合わせて81億円を計上

(2) 予算の重点ポイント

予算の重点ポイントとして、緊急の課題、中長期の課題への対応が挙げられます。

①県民生活や県内経済が直面する足元の課題への対応

・物価高の影響を受ける事業者や生活に困窮する方々への支援

・昨夏以降の大雨や鳥インフルエンザへの対応

・新型コロナウイルス感染症への適切な対応

②本県の中長期的な成長・発展に向けた取組

・防災・減災対策、地域医療の確保と「健康立県」の実現に向けた**強靱で安全安心な基盤整備**

・意欲ある企業等への支援、起業・創業の推進、付加価値の高い持続可能な農林水産業の実現による**産業構造の転換**

・子育てに優しい社会、女性が活躍できる社会の実現、多様な地域資源を活かした交流人口の拡大と交通ネットワークの整備等による**選ばれる地域の創造**

(3) 予算のキャッチフレーズ

令和5年度の予算では、コロナ禍や物価高で疲弊した足元の経済対策と中長期的に魅力ある

新潟県づくりを進めるという意味で、キャッチフレーズは「県民の社会経済活動を支えつつ、多くの人から魅力ある場として選ばれるよう、「住んでよし、訪れてよしの新潟県」づくりを加速させる予算」というものです。私は今後とも、みな様のご意見をよく聴きながら阿賀野市にとつてより良い施策を県、市とともに推進してまいります。

2. 直近の県議会での質疑応答

直近の県議会「人口減少問題対策委員会」における質疑について以下に紹介します。



県議会での質問状況

質問.. コロナ禍で人口流出に歯止めが掛ったように思えたが、その後がまた多くなった。県はどのように理解しているか。

答弁.. 令和3年は転出超過が改善傾向となりましたが、令和4年には逆に悪化の傾向となっております。宮城県や長野県では転入超過が続いていますので、本

県としても地方分散の流れをうまくつかまえる必要があると考えています。

質問.. 東京事務所(ネスパス)は県産品のアピール、産業振興が主目的であるが、人口減少対策として新潟県の魅力を発信する機能をもっと充実させてはどうか。

答弁.. ご指摘のとおり、表参道に「にいがた暮らし」のご支援センターを立ち上げ、特に女性に対してU・ターンの情報の発信をしております。本県では女性の働く場(サービス業等)が少ないという産業構造も女性の転出増加に繋がっていると考えています。

質問.. 過疎化を背景として、バス路線の廃止などで高齢者の移動が問題となっている。バス等交通機関への市町村からの補助についても限界がある。阿賀野市では市民バスを運行させているが、県も市町村と連動した中でトータル的な交通ネットワークはできないものか。また、60歳を超えても元気な方が多い。運転手として活用できるのではないか。

答弁.. 市町村とはこれまで議論をしてきました。地域の実情を踏まえた中で社会実験的事例を増やしたいと考えています。先生ご指摘の点も踏まえながら、持続可能な県の施策として知恵を出してまいります。

結び.. 人口減少は避けては通れない。減少傾向が穏やかとなるような対応をしてもらいたい。終わります。

全市民、友と友、手を取り合い、阿賀野市活性!

新型コロナが5月8日より正式に第2類から第5類となり、行動制限が原則解除となりました。そこで、阿賀野市内の観光産業のうち、五頭温泉郷と遊園地の2施設を訪問し行動制限解除後の集客状況等についてお話を伺ってきました。

まず最初に、市観光協会長で長生館社長の荒木善紀さんです。

村杉温泉は豊富に含まれるラジウムにより、湯治客に根強い人気があると伺っています。そうしたなか、コロナ禍の影響はどれほどでしたでしょうか。

3年前の4、5月は完全休館とし、6月には再開しましたが、団体、宴会がなくなり少人数利用となって今に至っています。

GOTOトラベルで回復し始めた途端に再びコロナ禍でGOTOが打ち切りとなり、最近になってようやくお客様が戻り始めているといった印象です。

コロナ禍で工夫されたことがありましたらお聞かせください。

すべての客室から庭園が望めることから、庭園でジャズを楽しんでいただく試みを定期的にしています。

三密回避の音楽イベントです。



長生館庭園でのジャズ

おかげさまで大勢のお客様に喜んでいただいております。

コロナ禍で他機関との連携などありましたら。

ハミングブザーで新発田観光協会と連携して新発田・月岡・五頭温泉郷を回るプランを実施しました。月岡温泉、五頭温泉郷それぞれに泉質も自然環境も異なります。今後機会をみてPRしていきたいと思っています。

ガス灯に似せた外灯で夜をオレンジ色に染めるとか、歩道に廃瓦を使用した瓦チップを敷き詰めるとかで地球環境にも優しく、おしゃれな演出になると思いますが、そういった要望はないのでしょうか。



安田古瓦リサイクル協同組合

以前、そういった要望もさせていたように記憶していますが、残念ながら実現に至っていません。行政のお力添えをぜひお願いしたいです。

ラジウム温泉を活用し差別化を図った水耕栽培なども面白いと考えています。観光拠点創りを踏まえた国の補助金等もありますし、うららの森のトマト水耕栽培などにも活用し、付加価値の高い青果が作れるのではという気がしますが。

地元でも温泉活用につきましては賛成で、ラジウム泉を使った水耕栽培なども含め、地域活性化の視点からもぜひ進めていただきたいと思っております。

次に、サントピアワールド園長の高橋修さんです。

コロナ禍の不況があり、大変な時期があったと伺いました。

お客様はほぼ半減しましたが、最近になって戻ってきてくださっている印象です。

苦しい中をこれまで続けてこれたのはなぜでしょうか。

遊園地は思い出つくりの場所です。家族の思い出、友人同士の思い出、そういった思い出を私たちは最高の形で残すこととお手伝いしたい。だから、何としても続けたかった。スタッフ一人一人がそういった思い

で日々丁寧な対応を心がけています。



キャンプ場を併設された伺いました。

キャンプは一人の力ではどうにもならなくてもみんな力を合わせればなんとかなるという経験を学ぶ場でもあります。このことから、企業研修などでもご利用いただく予定でおります。

また、火の灯りだけで話せる、人がくつろいで話せる、そういった(無料の)居場所を作りたいという思いがあつて、キャンプ場に併設してRORR(囲炉裏)を計画しています。夏にはオープンさせたいと思っております。

修学旅行での利用はどうだったでしょうか。

コロナ禍後、大幅に落ちこんで回復していません。

遊園地は限られた時間のなかで子供の側が選択の自由を持つ良い機会になるかと思えます。

また、修学旅行は新潟県という私たちの郷土を深く理解する場でもあります。その点で、県内に目を向ける取り組みを行政がやってくくださるとよいのかなと考えます。



県民割のようなサービスでしょうか。

県内企業と連携した職業体験、温泉地、遊園地などの県内版の観光パッケージを旅行会社さんに考えていただき、そういった旅行会社さんを行政が支援するといったような取り組みがあるといいなと思います。

阿賀野市が元気になる、提案・意見をお寄せ下さい。

特定の思想・主義の主張や、他者への非難や批判ではなく、あくまでも建設的な内容に限ります。文字数は400字程度です。

ほかりけんじ事務所
〒959-2221 阿賀野市保田 737-2
TEL:68-5441 FAX:68-5515
<http://www.hokaken.jp/>

活動動画を発信しています。

大勢の方から沢山の反響を頂いています。